

空洞充填材 水中対応型 レベル低下防止タイプ

フィルコンライトアクア

- 水と混ぜるだけの簡単空洞充填材
- 水に希釈されず、滞留水のある空洞充填、海水中への充填も可能!
- 小規模点在空洞・工期短縮に最適!
- プレミクスで高品質・機動性抜群!

特長

水と練り混ぜるだけの水中対応充填材です。独特なグリス状の材料で強力な水中不分離性を持ち、滞留水や弱い水流のある空洞への置換型充填に最適上、海水中に充填しても異常な膨張破壊を起こさずに硬化・充填できます。

1日施工量が10m³以下程度の物件で、点状にする小規模な空洞充填に最適な材料です。ハンドミキサーや通常のグラウトミキサーで効率良く混練・充填作業が可能です。

湿潤密度1.4程度と土より軽量で、上部路盤に適用可能な3N/mm²以上の圧縮強度に設計されており、路盤も同時に陥没した可能性がある箇所へも対応できます。

水中不分離性を増強させる微粉末を配合することでブリーディングが発生しないため、充填後のレベル低下が殆どなく、安定した荷重伝達を期待できます。

施工の概要

前準備

通常のプレミクスタイプのモルタル、グラウト工事と同様にハンドミキサー・グラウトミキサーで混練できます。

混練水：酸・油・有機不純物等を含まない清水。

混練機：ハンドミキサー(1000rpm以上)・グラウトミキサー等の高速回転型をご用意ください。

その他：モルタルポンプ圧送システム・計量器・バケツ・コテ等。

充填孔：空洞充填の場合、複数の注入用孔と充填確認孔等、適切な充填管理ができるよう準備してください。

施工

混練：裏面QRコードより動画をご覧ください。

注入：施工条件によって自重による注入か、ポンプ等を用いる圧入か選択します。注入は充填対象となる空洞内に空隙を残さないよう、できるだけ連続的に行います。

確認：注入孔の他、空気抜きや充填の確認孔等を用いて流動・充填状況を確認してください。また、硬化中に材料が移動する等により新たに空隙ができる可能性もあります。その場合は無収縮モルタルや裏込め用グラウト材等で追加充填を行ってください。



荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

示方配合および袋配合例

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上り量 (ℓ)
		フィルコンライト アクア	水	
示方	100	680(34袋)	680	1000
袋		20(1袋)	20	約29.4

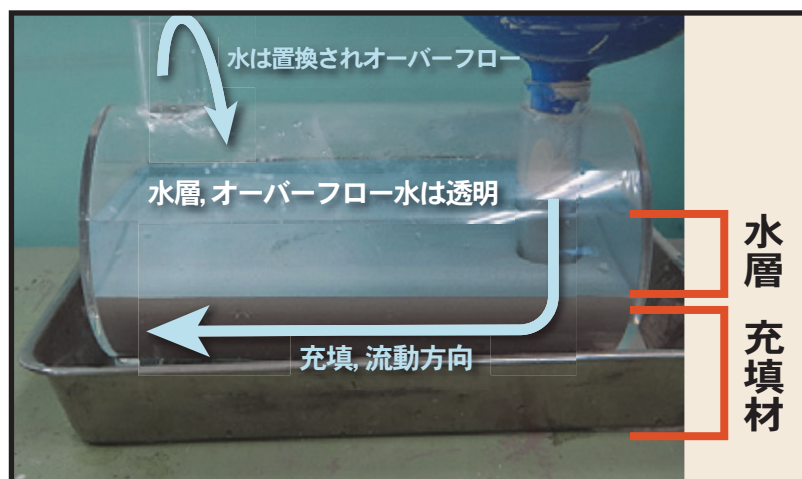
注) 気温等により水量は多少変動します。ミキサーの種類、1パッチの練り量、水の硬度もフレッシュ性状に影響しますので、使用前には実際のミキサーを用いた試験練り・試験施工等を行い、実施工における1パッチの練り量を決定かつ固定してください。本製品は1袋使い切りです。1袋を小分けして使うことはできません。必ず袋単位で使用してください。

物性値の範囲および圧縮強さ参考値

硬化速度	フロー値 (mm)	密度 (g/cm ³)	圧縮強さ (N/mm ² , 20°Cで密度1.4の時)
普通	目標 320±80	目標 1.4±0.2	材齢28日で3以上

注) セメントの化学反応で硬化するため、低温時は強度発現が遅れますので、設計時ならびに開放時期については十分にご注意ください。低温時の施工においては必ず現地の水を用いた試験練りを行い、初期強度の発現を確認後、開放時期を決定してください。

滞留水のある管の埋め戻しを模擬した置換型充填モデルによる実験状況



性能一例

準拠した規格等

規格等：日本工業規格（JIS）
：土木学会基準（JSCE）
：試験法（東日本, 中日本, 西日本高速道路株式会社）

流動性 試験法 313

試験：シリンダ(φ80×80mm)法によるフロー値
目安値：練上り直後において320±80mm推奨
目標強度により調整可能

湿潤密度(20℃)

管理値：練上り直後で1.4±0.2g/cm³

圧縮強さ JIS A 1216(20℃)

目安値：材齢28日3N/mm²以上(湿潤密度1.4の時)

水中への注入充填動画

PCから

<http://www.soc-tec.com/gr/gr2.html>

iPad, スマートフォンから

iPhone, iPad
(Quick Timeムービー)

iPhone以外
(Flashムービー)

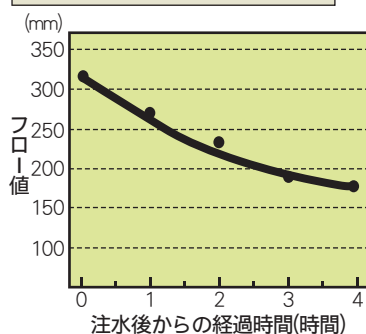


取り扱い上の注意

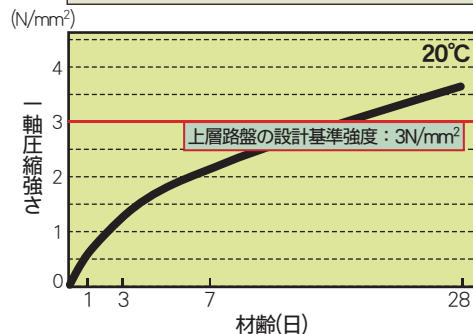
- ご使用前に必ず安全シート(SDS)をお読み頂き、これに従った安全対策を講じてください。
- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

試験結果の一例

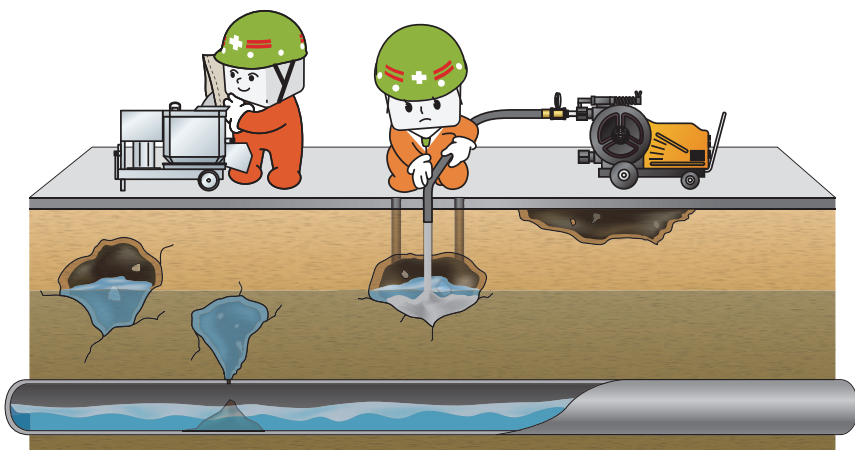
フロー値の経時変化(20℃)



一軸圧縮強度測定例(湿潤密度1.4)



施工体制の例



使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(住友生命広島ビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は